

### 第3回 港湾施設の維持管理等に関する検討会 議事概要

日時： 平成25年3月18日（月） 16:00～18:00

場所： 中央合同庁舎2号館低層棟1階 共用会議室2A

○事務局より、①本検討会の今後の予定について、②第2回検討会における指摘事項とその対応、③緊急点検等の対応方針（報告）、④港湾施設の更新・修繕費用の将来推計の考え方について、⑤予防保全計画の今後の運用・活用方法について、⑥港湾施設のデータベースについて説明し、委員による意見交換を行った。

○各委員からは下記のような意見があった。

- ・「更新費」や「維持管理費」といった文言の定義の再整理が必要。特に維持管理費については、港湾管理者にヒアリングを行い、どのような費用を支出しているのか実態を把握すべき。
- ・予防保全計画の対応方針において、劣化度のみで決まるわけではなく社会的要請等も大きく影響する。他分野での考え方も踏まえ、更なる検討が必要。
- ・データベースについては、必要とする機関とその目的を整理した上で検討を進めるべきである。その際、国で押さえておくべきデータと港湾管理者が必要なデータは異なることも視野に入れること。
- ・港湾施設の補修履歴等を記録するデータベースについては、港湾管理者の保有するデータやフォーマット等を調査した上で、統一化に向けた議論を検討会等も開いて行うべき。
- ・データベースについては即座に理想を追い求めるのではなく、段階的にステップアップしながら検討を進めるべき。
- ・港湾施設の維持管理のために実施する点検・補修等に関する技術開発については、民間との連携を図りながら実践すべき。

○来年度も検討会を継続し、いただいた御意見を踏まえ議論を深化させていくこととなった。